

## 規格化の重要性と手取りの増加

豚価がやや下がってきました。飼料価格も若干安定してきたものの大きな低下は望めそうもありません。それだけに、いかに体重を規格内に収めるかがポイントになってきます。地域ぐるみで出荷豚を丁寧に体重測定することによって実際の手取りも増加したという取り組みがありましたので紹介します。我々グループの規格上物枝重は(社)日格協とは異なり、様々な検討の末68.0～83.5kgという範囲です。同じ条件で昨年に比べ平均枝重で2kg増加、規格内比率も3%上昇し、問題の落ち幅は9.6円と大きく改善しました(次頁表)。6月単月だけですが、一旦このような違いを目の当たりにすると、各生産者もより認識を強め、問屋により良く買ってもらえることが実感できました。

生産サイドにいと、とかくこの問屋は高く評価しないなどの印象を持ちがちですが、決してそのようなことはなく、少なくとも私たちの同一銘柄の肉豚しか扱わない肉問屋ですので、このように生産者での規格化が進めば有利な販売もできるなど、相乗効果が期待でき問屋も喜びます。このデータは同じ問屋を通して同じ食肉センターで処理というラインで収集したデータですので、出荷の際の選別、規格作業が直接反映した結果として意味があると思います。



毎年各地で熱心に行なわれる生体勉強会



見事に並んだ枝肉は圧巻もの

グループの出荷豚・荷揃いの取り組み  
ある問屋出荷データ比較表

※68.0～83.5kg

農場名	期間	出荷頭数	平均 枝肉重量	規格内比率	落幅
1	2007年06月	536	74.6	95.7	13.5
	2008年06月	1029	76.3	96.6	12.9
	前年 差	<b>493</b>	<b>1.7</b>	<b>0.9</b>	<b>△ 0.6</b>
2	2007年06月	841	76.7	99.3	12.7
	2008年06月	734	77.0	98.6	4.3
	前年 差	<b>△ 107</b>	<b>0.3</b>	<b>△ 0.6</b>	<b>△ 8.4</b>
3	2007年06月	961	73.9	90.5	19.8
	2008年06月	550	74.8	96.2	6.0
	前年 差	<b>△ 411</b>	<b>0.9</b>	<b>5.7</b>	<b>△ 13.8</b>
4	2007年06月	199	78.8	82.4	40.4
	2008年06月	79	76.3	100.0	15.7
	前年 差	<b>△ 120</b>	<b>△ 2.5</b>	<b>17.6</b>	<b>△ 24.7</b>
5	2007年06月	64	74.1	53.1	3.9
	2008年06月	322	75.9	100.0	6.9
	前年 差	<b>258</b>	<b>1.8</b>	<b>46.9</b>	<b>3.0</b>
6	2007年06月	277	74.2	97.5	22.3
	2008年06月	197	75.7	100.0	14.7
	前年 差	<b>△ 80</b>	<b>1.5</b>	<b>2.5</b>	<b>△ 7.6</b>
7	2007年06月	290	77.1	99.0	3.5
	2008年06月	608	77.8	99.5	1.6
	前年 差	<b>318</b>	<b>0.7</b>	<b>0.5</b>	<b>△ 1.9</b>
8	2007年06月	324	75.8	97.5	28.2
	2008年06月	312	78.2	100.0	12.6
	前年 差	<b>△ 12</b>	<b>2.4</b>	<b>2.5</b>	<b>△ 15.6</b>
9	2007年06月	343	74.4	98.8	17.8
	2008年06月	360	75.5	99.4	9.4
	前年 差	<b>17</b>	<b>1.1</b>	<b>0.6</b>	<b>△ 8.4</b>
10	2007年06月	74	76.0	90.5	29.1
	2008年06月	127	76.6	100.0	17.0
	前年 差	<b>53</b>	<b>0.6</b>	<b>9.5</b>	<b>△ 12.1</b>
合計 10農場	2007年06月	3909	74.7	94.5%	18.0
	2008年06月	4318	76.5	97.6%	8.4
	前年 差	<b>409</b>	<b>1.8</b>	<b>3.1%</b>	<b>△ 9.6</b>